

令和 4 年度  
青森県発達障害者支援地域協議会

令和 4 年度  
青森県発達障害者支援センター  
「わかば」 (津軽地域)  
— 取組状況及び今後の方向性について —

青森県発達障害者支援センター「わかば」  
(津軽地域)

# 令和4年度の事業について

## 【青森県発達障害者支援センター運営事業】

- 1、相談支援事業
- 2、発達支援事業
- 3、就労支援事業
- 4、普及・啓発事業

## 【青森県発達障害者支援体制整備事業】

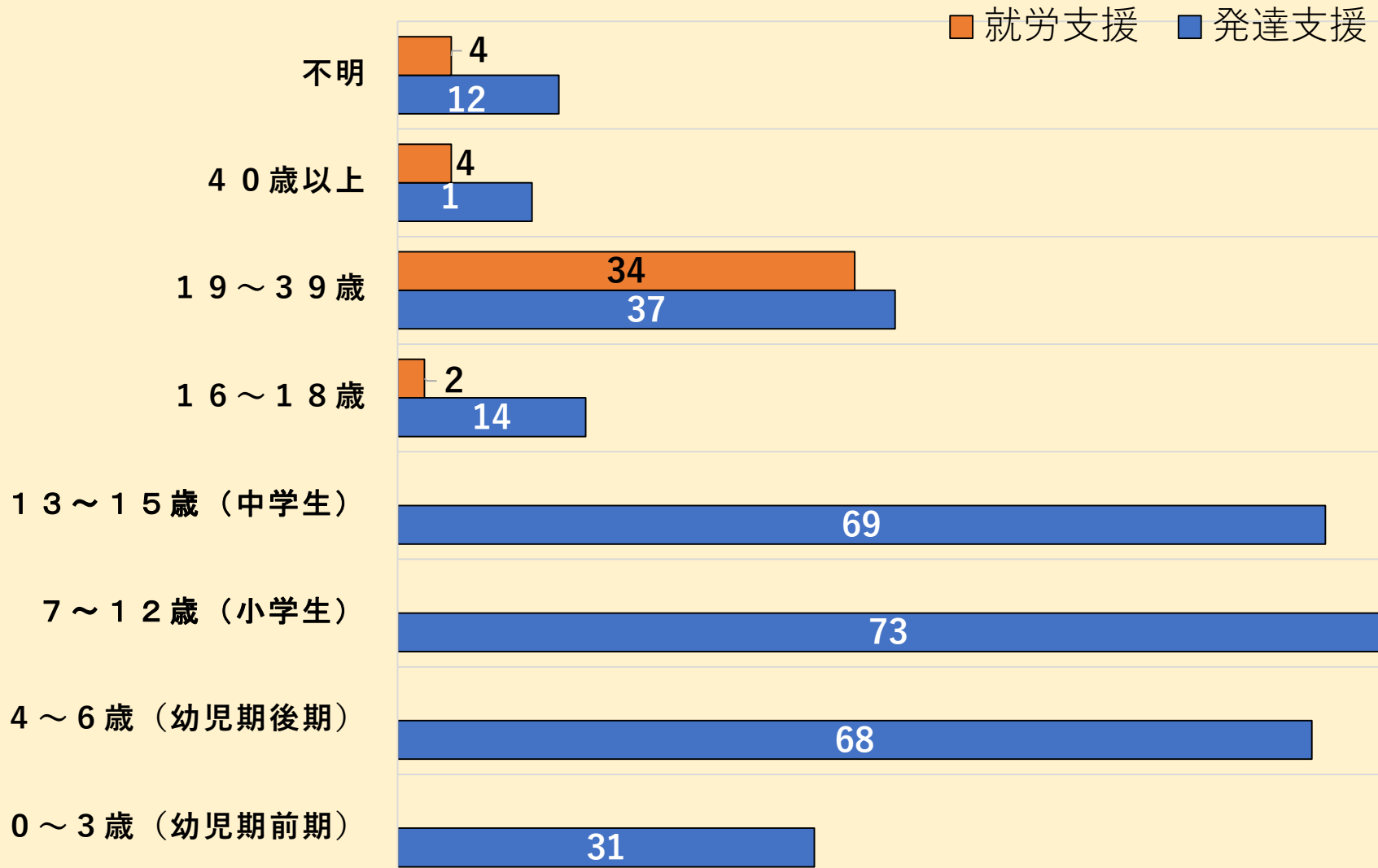
- 1、発達障害者支援地域連携強化事業
- 2、発達障害児者支援スキルアップ研修事業
- 3、家族サポート応援事業

# 令和4年度事業実施状況 R4.4月～R4.11月

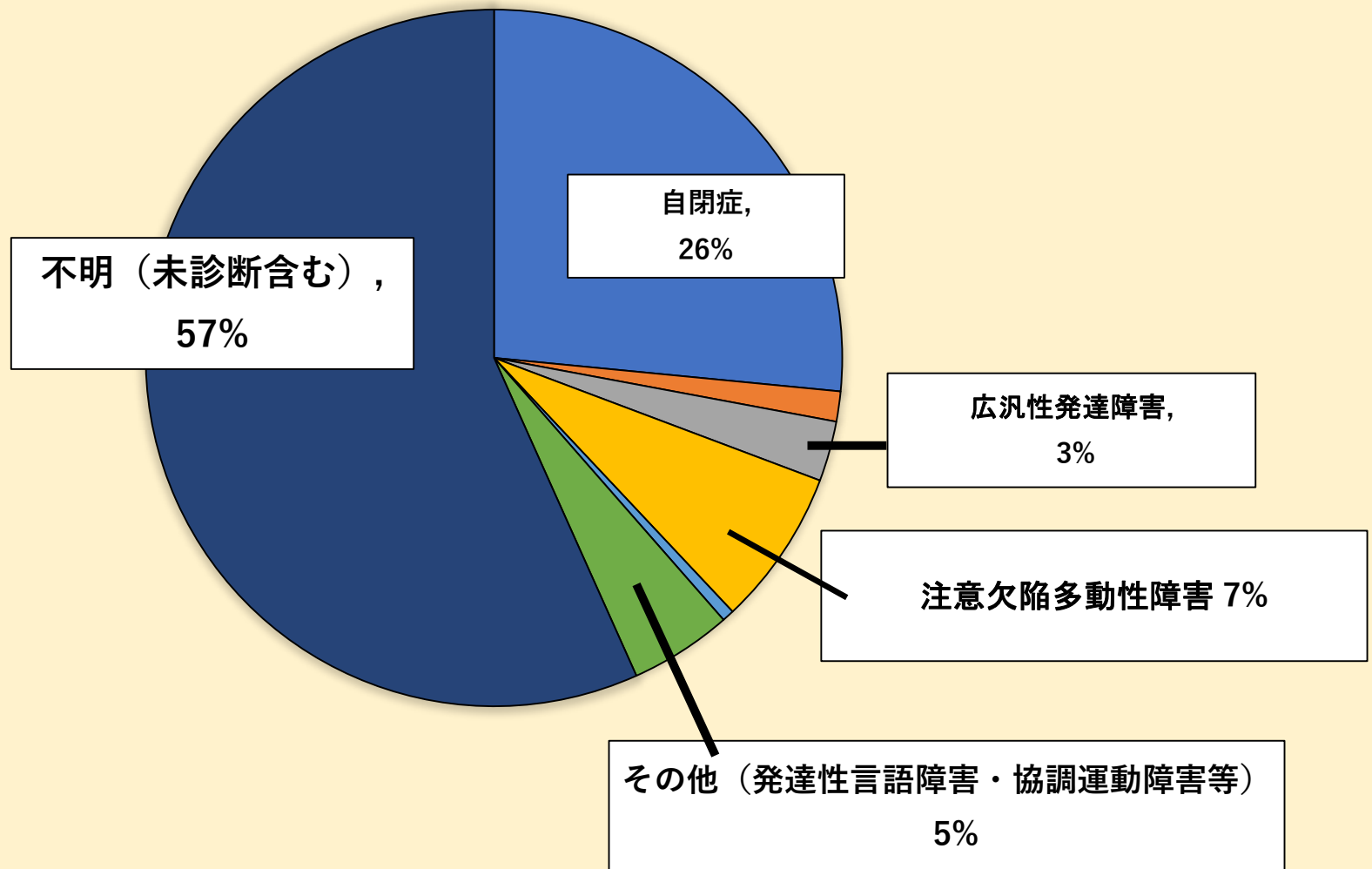
( ) は、昨年度 同時期実績

発達支援	実支援件数	314名 (305名)
	延支援件数	609名 (616件)
就労支援	実支援件数	44名 (43名)
	延支援件数	112名 (113件)
センター主催 地域住民向け講演会・企画等	8回 (1回)	
センター主催・共催で 企画した研修会	11回	参加者 108名 (7回 70名)
外部から講師依頼を受けた研修	8回	参加者 145名 (3回 242名)
他の協議会への参加状況	15回	(6回)
関係機関職員への助言 (機関コンサルテーション)	20件	(27件)
調整会議	5回	(7回)

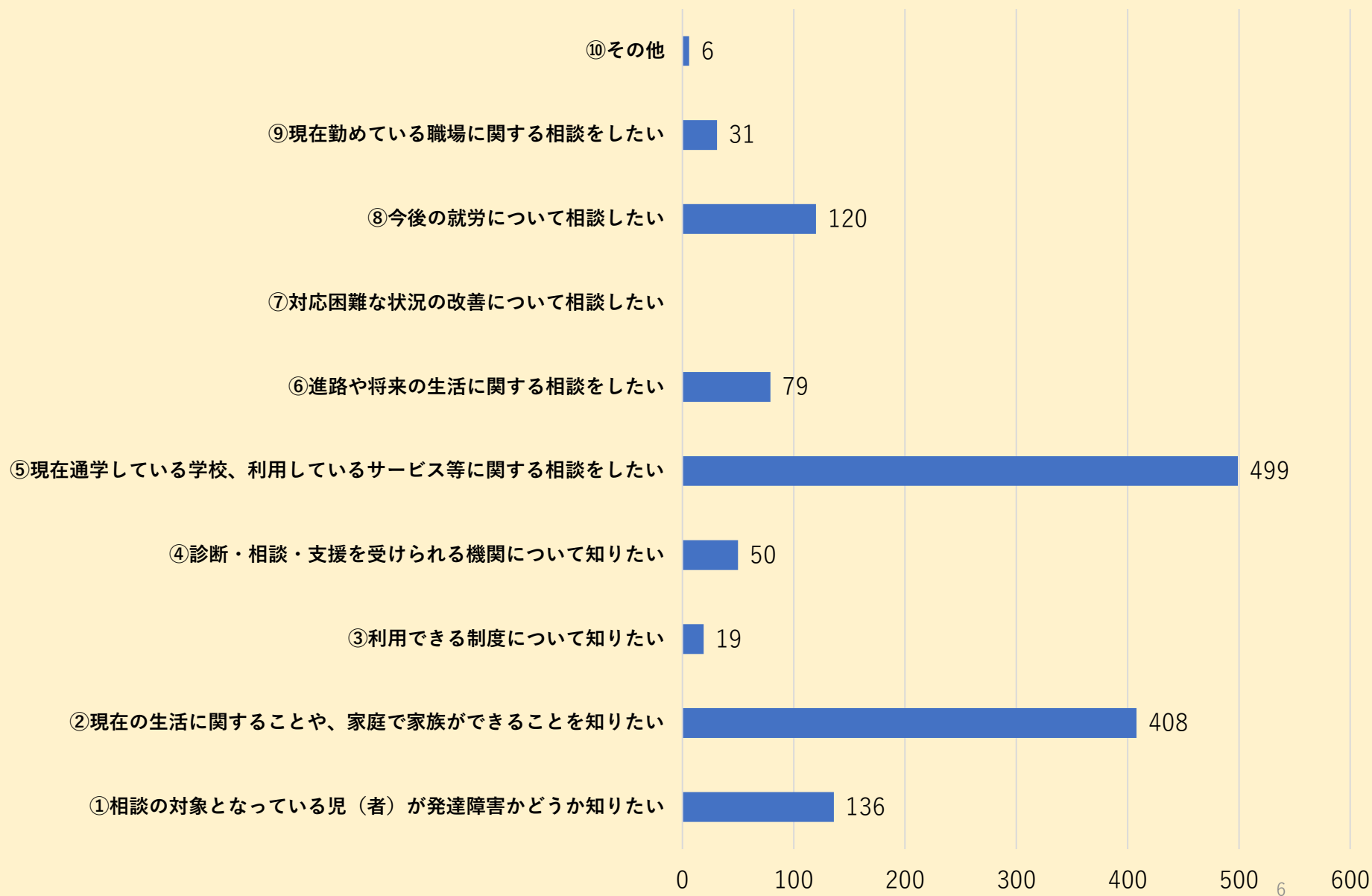
# 年齢別相談者数（R4.4月～R4.11月まで）



# 障害種別の割合（発達支援・就労支援）



# 相談内容別の割合



# 【青森県発達障害者支援体制整備事業】

## 1、青森県発達障害者支援地域連携強化事業

- ・ **幼児健康診査における発達相談**（令和4年4月～11月まで）

**訪問回数 3回 延相談件数 9件**

- ・ **保育園巡回**（令和4年4月～11月まで）

**訪問回数 6回 延相談件数 14件**

→ 幼児健診で経過観察が必要となった子どもや、保育現場で身体面・情緒面で課題を感じる子どもを対象に行動観察を行ったのち、適切な関わり方や今後の見通し等を助言、認定こども園等と共有する。

# 【青森県発達障害者支援体制整備事業】

## 2、発達障害児者支援スキルアップ研修事業

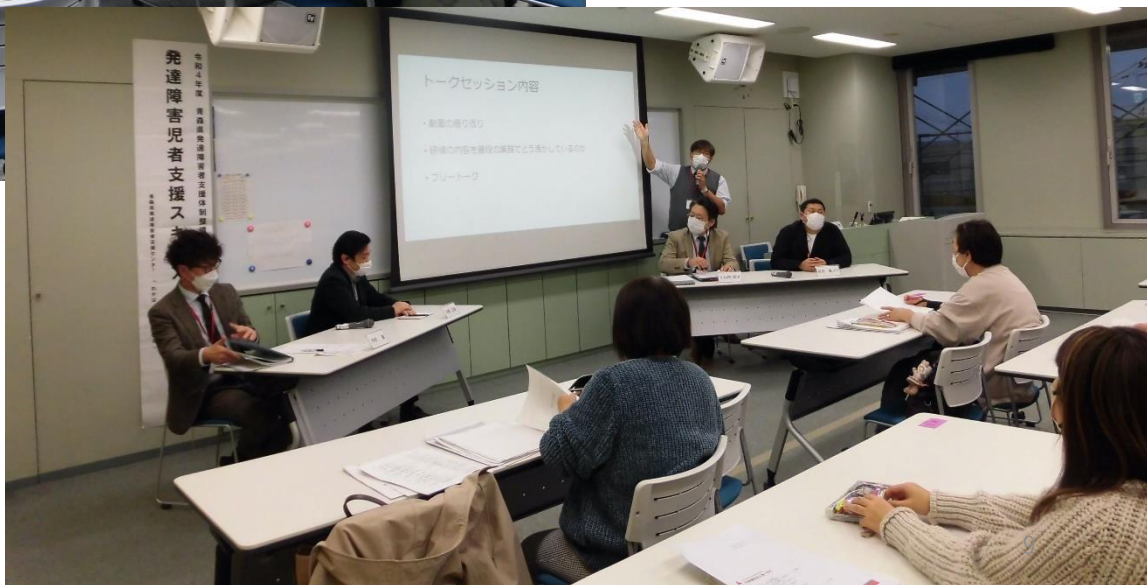
### (1) 基礎研修

#### 「発達障害児者支援スキルアップ基礎研修」

- 開催日：令和4年11月28日（月）～29日（火）
- 開催場所：アピオあおもり 大研修室
- 講師：平川 大輔 氏（特定非営利活動法人ら・ぽると理事長）他、全5名
- 参集範囲：児童期～学生規に関わる支援に従事して3～5年以内の方  
（福祉サービス事業所職員、保育教諭、教育機関職員等）
  
- 参加人数（延べ）：48名



# 【青森県発達障害者支援体制整備事業】 2-(1)発達障害児者支援スキルアップ研修事業



## 【青森県発達障害者支援体制整備事業】

### 2-(1)発達障害児者支援スキルアップ研修 基礎研修 受講者の感想

■困っている子へ一対一対応ということは難しい面もあるが保育室の環境を変えることでクラス全体に対して対応しやすくなったと感じた。

■その子の行動の意味を理解することで私たちの支援の仕方を見出せるとを改めて学ぶことができ、少し安心した気持ちになった。

■内容が本当に基礎の所で復習になった。知っている内容が多いからこそ、今の職場に当てはめて考えることが出来た。新卒で働き始めて、「自分は全然仕事できなくてないな…」と悩んだことがあり、自分が希望した仕事なのに辞めたいと何度も思っていたため、感情コントロールについての内容は、もっと早く知りたかったと思ったし、自分が身体的にも精神的にも元気でないと子ども達にポジティブに関われないと思った。

■子どもの見える部分だけで対応し、背景にあるものをあまり考えていなかった。研修を通して、背景にあるものを考えることで支援の幅が広がった。

■子どもの行動観察のポイントをおさえるだけで、次の支援の方法が考えやすくなったと思いました。普段担当する児童の個別支援計画に悩んでいましたが、これからはこの方法からヒントやアイデアを出していけたら良いなと思いました。

# 【青森県発達障害者支援体制整備事業】

## 2、発達障害児者支援スキルアップ研修事業

### (2) 発達障害児者支援リーダー養成研修 「強度行動障害支援フォローアップ研修」

・ 開催日：令和4年11月15日（火）

13:30～16:30

・ 開催場所：オンライン研修

・ 講師：神田 宏 氏

横浜市発達障害者支援センター

発達障害者地域支援マネジャー

・ 参加人数：13名

・ 対象者：

主に強度行動障害支援養成研修を受講済みの方

\*\*\*\*\*

### 令和4年度 青森県発達障害者支援体制整備事業 強度行動障害支援フォローアップ研修

一定の知識を得た上で支援をしても、自傷や他害など様々な行動に直面することがあります。再度どのように支援を見直していくか、新しく受け入れる場合にはどのような準備が必要かなど、強度行動障害支援者養成研修のフォローアップを目的とした研修です。

[講師] \* 横浜市発達障害者支援センター  
発達障害者地域支援マネジャー  
神田 宏氏

[内容] ・受け入れ前アセスメントや必要な準備について  
・受け入れ後の支援について  
・事業所内のチームアプローチ  
・地域の支援体制事例 他

[日時] 11月15日(火) 13:30～16:30  
締切:11月1日(火)

[開催形態] ZOOM開催

[対象者] 主に強度行動障害支援者養成研修を受講済みの方

主催：青森県・青森県発達障害者支援センター「わかば」(津軽地域)

申込み | 2枚目をご参照の上、お申込みください。

\*\*\*\*\*

## 【青森県発達障害者支援体制整備事業】

### 2-(2)強度行動障害支援フォローアップ研修 受講者の感想

- 具体的なコンサルテーションの方法が、事業所でのスタッフとのコミュニケーションに活かせる部分が沢山あり、とても参考になった。
- 普段の強度行動障害に対する支援の中でなかなか良い結果が出ない日々が続くと苦しくなったり私たちの行動分析や考えて行っている支援は間違っているのかなと考えてしまうことがある。今日の支援に失敗はないという言葉にすごく勇気づけられた。映像で実際のOJTの現場を見られたことが大変分かりやすかった。
- 強度行動障害支援者養成研修に参加してきたが、なんだか難しいと感じてしまったり、これで合っているのかな？等の不安から実践までに繋がらない状態だった。今回研修に参加し、具体的な体験談や実践内容はどれも濃厚なお話で、講師の一言一言が、私自身のこれまでや今後の利用者支援に対して自信に繋がる貴重な時間だった。
- 「諦めなければ失敗はない」の言葉に、恐れず挑戦する勇気をもらえた。
- 慣れてきたからわかったつもりにしないうで何でこの行動を取るんだらうと再度考えるきっかけになった。



# 【青森県発達障害者支援体制整備事業】

## 3、家族サポート応援事業

### (1)ペアレントプログラム研修（協力自治体：田舎館村・鯉ヶ沢町）

目的：子育てに難しさを感じる保護者が子どもの「行動」の理解の仕方や「楽しく子育てをする自信をつけること」「子育ての仲間をみつける機会とすること」を全6回のプログラムを通して学ぶことを目的とする。また、地域の支援者にも実際にプログラムに参加してともに学び、保護者支援のコツを身につけることをねらいとする。

開催期間：令和4年10月～令和5年2月

開催場所：田舎館村中央公民館 / 鯉ヶ沢町役場

講師：こどもサポートふたば 施設長 高橋恵美子氏（講師資格認定者）

参加人数（11月末までの延べ参加者数）：54名

アドバンス認証研修受講資格取得者：6名

# 【青森県発達障害者支援体制整備事業】

## 3-1 ペアレント・プログラム研修

@鯨ヶ沢町役場



@田舎館村中央公民館



## 【青森県発達障害者支援体制整備事業】

### 3-1 ペアレント・プログラム研修 受講者の感想

■表に書き出すことで客観的に行動を振り返ることができ、気持ちに余裕を持てるようになった。

■自分ばかりと悩んでいたが、子育てに悩んでいるのは自分だけではなく。同じように悩みながらも頑張っている人たちがいることに勇気づけられた。

■怒りたくなる行動があってもワンクッション置いて捉えられるようになったことで叱ることが減った。

■自己分析できて対処を見出せた。

# 【青森県発達障害者支援体制整備事業】

## 3、家族サポート応援事業

### (2) ピアサポート

#### “きょうだいのつどい”の実施

目的：育てにくさを感じる子を持つ保護者や発達障害のある兄弟のいる児童を対象とし、悩みの相談や情報交換を行う場を提供する。

開催日：令和4年11月5（土）

参加人数：2名

内容：・レクリエーション  
・きょうだいについて話そう。



# 【青森県発達障害者支援体制整備事業】

## 3、家族サポート応援事業



## 【青森県発達障害者支援体制整備事業】

### 3-1 きょうだいのつどい 受講者の感想

#### 参加児童からの感想

- きょうだいのことを話す機会が今まで無かったので話せて良かったなと感じた。

#### 参加保護者からの感想

- 普段療育を受けているきょうだいはそこでどんなことをしているのか知る機会や体験する機会があっても良いと思った。その機会を通じて家族で障害について伝えるきっかけになると思う。
- 学校にも障害を持つ友達がいたりするので、他の子と障がいについて一緒に話し合う機会は良いと思う。

# 令和5年度の取り組みの方向性

## 1、発達障害者支援地域連携強化事業

幼児健診への協力・巡回訪問の継続

## 2、発達障害児者支援スキルアップ研修事業

保育機関を対象とした『子ども発達支援ガイドブック』  
の活用研修会の開催

強度行動障害支援フォローアップ研修の継続

## 3、家族サポート応援事業

ペアレント・プログラム実施支援者養成研修の開催  
ピアサポート（親支援）を目的とした茶話会の企画